

正誤表 中期目標の達成状況報告書

東京外国語大学

	頁数・行数等	誤	正
1	2 頁・18 行	・・・実践教 <u>育</u> 研修・・・	・・・実践教 <u>育</u> 研修・・・
2	6 頁・16 行	・・・を指定している <u>(資料 11)</u> 。	・・・を指定している。
3	9 頁・20 行	・・・言語教育については、 <u>、</u> ・・・	・・・言語教育については、 <u>、</u> ・・・
4	20 頁・資料 37 下欄・平成 22 年度 8 行	アジア・アフリカ <u>8</u> 名	アジア・アフリカ <u>5</u> 名
5	28 頁・31 行	外国人研究 <u>院</u>	外国人研究員
6	33 頁・資料 59	【資料 59：コミュニティ通訳活動の実績】 (最左欄 2 段目： <u>空白</u> )	【資料 59：コミュニティ通訳活動の実績】 (最左欄 2 段目： <u>通訳</u> )
7	35 頁・9 行	・・・ <u>隣地</u> 研究・・・	・・・ <u>臨地</u> 研究・・・
8	39 頁・21-22 行	・・・平成 24 年度 <u>かけて</u> ・・・	・・・平成 24 年度 <u>にかけて</u> ・・・
9	39 頁・23 行	・・・平成 27 年度 <u>かけて</u> ・・・	・・・平成 27 年度 <u>にかけて</u> ・・・

正誤表 学部・研究科等の現況調査表（教育）

東京外国語大学言語文化学部

	頁数・行数等	誤	正
1	1-4 頁・資料 3 4 行	言語文化学部 ・・・文化間 <u>の</u> 架け橋となり、	言語文化学部 ・・・文化間 <u>の</u> 架け橋となり、
2	1-5 頁・資料 5 資料名	【資料 5 言語文化学部におけ TA の配置 状況】	【資料 5 言語文化学部における TA の 配置状況】
3	1-9 頁・資料 10 19 行	【GLIP 英語科目】 英語 A (Interactive English) 少人数で授業を行い、高校 <u>レベ</u> の	【GLIP 英語科目】 英語 A (Interactive English) 少人数で授業を行い、高校 <u>レベル</u> の
4	1-15 頁・資料 26	【言語文化学部履修案内（2015 年入学 者用）】 ・・・F 59 点以下 <u>到達目標を必要最 低限の水準で達成している</u>	【言語文化学部履修案内（2015 年入学 者用）】 F 59 点以下 <u>到達目標の必要最低限 の水準を達成していない</u>
5	1-21 頁・資料 40	【資料 40 卒業生アンケートの結果（平 成 27 年度実施）】 ※回答率は当該項目を選択した回答数 を <u>全回答数</u> で割ったもの。	資料 40 卒業生アンケートの結果（平 成 27 年度実施）】 ※回答率は当該項目を選択した回答数 を <u>全回答者数</u> で割ったもの。
6	1-23 頁・9-10 行	・・・壁を越えた <u>コミュニケーション</u> 能力と <u>コーディネート</u> 能力を備え、国 内外において言語間・文化間 <u>の</u> ・・・	・・・壁を越えた <u>コミュニケーション</u> 能力と <u>コーディネート</u> 能力を備え、国内 外において言語間・文化間 <u>の</u> ・・・
7	1-25 頁・7 行	・・・シフト <u>し</u> おり・・・	・・・シフト <u>して</u> おり・・・

正誤表 学部・研究科等の現況調査表（教育）

東京外国語大学国際社会学部

	頁数・行数等	誤	正
1	2-9 頁・資料 10 19 行	【GLIP 英語科目】 英語 A (Interactive English) 少人数で授業を行い、高校 <u>レベ</u> の・・・	【GLIP 英語科目】 英語 A (Interactive English) 少人数で授業を行い、高校 <u>レベル</u> の・・・
2	2-15 頁・資料 26	【言語文化学部履修案内（2015 年入学者用）】 F 59 点以下 <u>到達目標を必要最低限の水準で達成している</u>	【言語文化学部履修案内（2015 年入学者用）】 F 59 点以下 <u>到達目標の必要最低限の水準を達成していない</u>
3	2-21 頁・資料 40	【資料 40 卒業生アンケートの結果（平成 27 年度実施）】 ※回答率は当該項目を選択した回答数を <u>全回答数</u> で割ったもの。	【資料 40 卒業生アンケートの結果（平成 27 年度実施）】 ※回答率は当該項目を選択した回答数を <u>全回答者数</u> で割ったもの。
4	2-24 頁・9-10 行	③就職状況の向上 ③就職状況の向上	③就職状況の向上 ③就職状況の向上（削除）

正誤表 学部・研究科等の現況調査表（教育）

東京外国語大学総合国際学研究所

	頁数・行数等	誤	正
1	3-2 頁・資料 1 4-5 行	(目的)・・・多言語を運用し国際社 会に寄与する実践的知識と技法を修得し、世界に活躍することのできる創造的かつ先端的 な人材を・・・	(目的)・・・多言語を運用し国際社会に寄与する実践的知識と技法を修得し、世界に活躍することのできる創造的かつ先端的な人材を・・・
2	3-3 頁・資料 1	ウ 地域・国際専攻 ・・・現地語の高度な運用能力と 専門的探求能力をもって・・・	ウ 地域・国際専攻 ・・・現地語の高度な運用能力と専門的探求能力をもって・・・
3	3-3 頁・資料 1	ア 言語社会専攻 ・・・専門研究者ならびに高度専門職 業人・・・  イ 国際社会専攻 ・・・現地語書類の読解・分析 能力を駆使して、・・・ならびに高 度専門職業人を育成する。	ア 言語社会専攻 ・・・専門研究者ならびに高度専門職業人・・・  イ 国際社会専攻 ・・・現地語書類の読解・分析能力を駆使して、・・・ならびに高度専門職業人を育成する。
4	3-6 頁・資料 4	国際社会専攻 ・・・現地語資料の読解分析 能力を駆使して、・・・ならびに高 度専門職業人を育成する。	国際社会専攻 ・・・現地語資料の読解分析能力を駆使して、・・・ならびに高度専門職業人を育成する。
5	3-12 頁・資料 16	(3) 学生の海外派遣実績 (平成 22 年度) ・ ITP アジア・アフリカ 8 名	( (3) 学生の海外派遣実績 (平成 22 年度) ・ ITP アジア・アフリカ 5 名

正誤表 学部・研究科等の現況調査表（研究）

東京外国語大学言語文化学部・国際社会学部・総合国際学研究所

	頁数・行数等	誤	正
1	1-14 頁・13 行	「CEFR-J <sub>x</sub> 27 Project」	「CEFR-J <sub>×</sub> 27 Project」

正誤表 学部・研究科等の現況調査表（研究）

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所

	頁数・行数等	誤	正
1	2-9 頁・23 行	・・・また、広報誌 <u>FIELDPLUS</u> を・・・	・・・また、広報誌『 <u>FIELDPLUS</u> 』を・・・
2	2-13 頁・16 行	・・・構築と公開を押し進めて <u>来</u> た。	・・・構築と公開を押し進めて <u>き</u> た。